

インバウンド観光の虎の巻

日仏英3カ国語 9000項目を網羅「日本観光必携単語帳」

12月25日 刊行

現役のトップガイド4人が執筆・編集した書籍「日仏英3カ国語 日本観光必携単語帳」が2024年12月25日（水）、刊行される（GTP発行）。この本は、外国人観光客の対応の最前線に立つ人を対象に「現場で使う立場に立って編まれた」もの。ガイド・通訳、ホテル・旅館、レストラン・居酒屋、交通機関、観光案内所など、日本で外国人と接する機会がある人すべてを対象とした、これまでに前例のない語彙集。インバウンド旅行業界の虎の巻として注目を浴びそうだ。

【URL】<http://gtpweb.net/tango.html>



新刊案内

LEXICON JAPONICA
日仏英3カ国語
日本観光必携
単語帳

インバウンドの
バイブル登場!!

現役トップガイド4人が結集し
自らの経験と情熱を注ぎ込んだ
12分野・約9000項目!!

- とっさに出ない、辞書で調べにくい単語
タブーな話題にも踏み込んだ内容
- 日本人も知らない
日本文化にも普及
通訳案内士による
圧巻の知識量
がここに
- スリムで
ポケットブルな
新書サイズ
紙質にもこだわりの
コンパクトに
仕上げました
- 本体の表紙は
ガバっとひらけて
耐久性のある
ビニール製
表紙
- カラオケや
建築物など
現場で役立つ
リスト
を多数掲載

日本観光の現場に必要な単語を網羅!!

定価4,200円(税別)
国内送料無料で
詳しくは
裏面へ!

フライヤー0919.indd 1

2024/09/20 14:23

日本観光に必要な単語が分野ごとにまとめられている

アイウエオ順 abc 順ではなく、分野別に、さらに現場で登場しそうな順に配列されているので、実践ですぐに役立ち、かつまた机上学習では語彙を一気に増やすことができる。テーマごとに全 12 章の構成。また、アニメの作品名リスト、日本人のファッションデザイナーのリスト、現代美術作家のリスト、日本で見られる建築のリストなど、一般教養の事典の要素も盛り込まれている。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

GTP「日本観光必携単語帳」編集部 長野智行 TEL : 090- 6015-4502 MAIL : greattomoyukiproject@gmail.com

【目次内容】

- 第1章 [日本入門] 〈空港到着から〉〈下車観光〉〈見えるものを説明する〉〈オーディオガイド・お金や忘れ物〉など
第2章 [美味しい日本] 〈魚類〉〈貝類〉〈肉・ステーキ〉〈果実〉〈和菓子・デザート〉〈味と食文化〉〈食事制限〉など
第3章 [日本で飲む酒] 〈酒蔵・酒米〉〈日本酒の製法〉〈酒器・居酒屋・酒飲み〉〈ビール〉〈ウイスキーの製法〉など
第4章 [自然を愛で、理解する] 〈苔と日本庭園〉〈森林国、日本〉〈日本の花木〉〈園芸・栽培・盆栽〉〈昆虫〉など
第5章 [城や建物を訪れる] 〈玄関から床の間へ〉〈木造建築と大工道具〉〈日本の城〉〈現代の建築〉など
第6章 [日本人の心] 〈神社に参拝〉〈神話の世界〉〈寺院に行くと〉〈禅の心〉〈キリスト教〉〈日本人の愛と性〉など
第7章 [戦争と世界の未来] 〈原子爆弾〉〈被曝者講話〉〈近現代の武器・兵器〉〈エネルギー〉〈原発〉〈環境問題〉など
第8章 [スポーツとエンターテインメント] 〈オリンピック〉〈ナイトライフ〉〈マンガ・アニメ作品〉〈カラオケ〉など
第9章 [ハイカルチャーの基礎知識] 〈現代美術〉日本映画作品〉〈日本語〉〈日本文学作品〉〈ファッション〉など
第10章 [伝統的な日本] 〈茶の湯〉〈伝統演劇〉〈陶芸〉〈金箔〉〈漆器〉〈和紙〉〈芸者〉〈着物〉〈刀鍛冶・刀剣〉など
第11章 [産業・経済・政治・歴史・メディア] 〈工場見学〉〈第一次産業〉〈ジェンダー問題〉〈日本と世界の歴史〉など
第12章 [病気になったら] 〈緊急事態〉〈注射と薬〉〈難病〉〈万が一の場合〉〈伝染病〉〈感染症と戦う〉など
- (左・紙カバー表紙、右・本表紙)



もち歩くもよし、机上学習もよし。ハンディな新書サイズ

本文 576 頁と、単なる単語学習の類書とは一線を画すボリューム。しかし、辞書の印刷で評判の高い三省堂印刷の提案により、裏映りの少ない薄手の紙を使い、製本は糸かがり綴じ、表紙はビニール表紙にした。開きもよく、厚さは2センチに収まり、ハンディに持ち歩けるものに仕上がった。

■【書誌情報】

刊行日 : 2024年12月25日
判型 : 新書版
製本 : 糸綴り上製本、ビニール表紙、紙カバー
本文ページ数 : 576ページ
総項目数 : 約9000項目
定価 : 4,200円(税込)
編集 : 日本観光必携単語帳編集部

書評、読者プレゼント検討などのため、書物の現物が必要な場合は、その旨①「見本希望」と②お名前③郵便番号と住所④お電話番号を明記の上、編集部宛にメール下さい。見本をお送りいたします。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

GTP「日本観光必携単語帳」編集部 長野智行 TEL : 090- 6015-4502 MAIL : greattomoyukiproject@gmail.com

書籍を購入すると、ウェブサイトにもアクセスできる

書籍を有料で購入すると、特典として、2025 年内の期間限定で、書籍の内容をそのまま収容したウェブサイトにもアクセスできるので、本を持ち歩かなくとも内容を参照できる。アドレスは、書籍に挟まれた葉に QR コードとパスワードが記されている。

限定販売の申込み方法

限定 500 部の印刷で、店頭販売や、Amazon などでの通信販売の予定はない。

【書籍注文の仕方】

4,200 円を振込した方に、送料追加なしでお送りします。

1) 代金をお振り込みください

【振り込み先】 郵便局 10030-80052271 口座名義：ナガノモユキ

(他金融機関から郵便局口座に振り込む場合は、店名＝〇〇八(ゼロゼロハチ)、店番＝008、預金種目＝普通預金、口座番号＝8005227 で) 振込手数料はお客様の負担です

2) メールにて振込額と振り込み日、お名前、郵便番号とご住所、お電話番号をお知らせください

【メール宛先】 greatomoyukiproject@gmail.com 「日本観光必携単語帳」係 まで

3) 入金確認がとれ次第、クリックポストでお送りします

GTP「日本観光必携単語帳」編集部について

社名：GTP

所在地：〒182-0002 東京都調布市仙川町 2-6-5-433

主宰：長野智行

TEL：090-6015-4502

MAIL：greatomoyukiproject@gmail.com

「日本観光必携単語帳」編集部

HP：<http://gtpweb.net/tango.html>

【編著者プロフィール】

長野智行 [ながのともゆき] フランス語ガイド。東京都新宿区出身。上智大学外国語学部フランス語学科卒業。新聞記者、日本航空機内誌編集長、『マリ・クレール』誌編集長、『Martha』誌編集長、ワイン専門誌編集長などを経て、フリーランスに。ウェブ・エディター、短大の講師などをつとめ、2006 年より、フランス語によるガイドを本業とする。著書に「Guide Tomo Japon 2018」など。

小林由美子 [こばやしゆみこ] 英語ガイド。神戸出身、横浜市在住。1997 年に横浜で通訳ガイドとしてスタートする。サンライズツアーの鎌倉、日光、富士箱根のコースで鍛えられた後、FIT からスルーのロングツアー、アートや鉄道などのテーマツアーまで幅広くこなすように。日本の近現代建築巡りと現代アート鑑賞をこよなく愛す。さまざまな「美」をお客さまと共感する瞬間が楽しみ。

山本啓介 [やまもとけいすけ] フランス語英語ガイド。川崎市出身。広告制作会社、フランス政府観光機関でのプロモーション業務を経て、2015 年より通訳ガイドに。業務視察、国際会議、スポーツ大会、映画撮影など、幅広いジャンルの通訳も行う。総合旅行業務取扱管理者、世界遺産検定 1 級、JSA ワインエキスパート等の資格を所持。ガイドや通訳などの枠にとらわれないマルチな活動を目指す。

笹根由恵 [ささねよしえ] フランス語英語ガイド。神戸出身。2001 年よりフリーランスのフランス語通訳・翻訳家。2007 年よりフランス語ガイド。富裕層、外務省招聘事業、クルーズ乗船やインセンティブツアーに多く携わる。20 年間通訳として関わってきたバレーボール男子フランスチームの東京オリンピック金メダル獲得の瞬間に立ち会い感動。趣味は茶道、仕舞。翻訳書に『ゆたかな人生が始まる シンプルリスト』など。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

GTP「日本観光必携単語帳」編集部 長野智行 TEL：090-6015-4502 MAIL：greatomoyukiproject@gmail.com

おもてなしの心を言葉にこめて---コロナのおかげで本ができた

【誕生秘話】

「このワードブックを手に、外国人のお客さまに素晴らしい日本を伝えたい」と話すのは、通訳案内士の長野智行、通称ともさん。通訳案内士は外国の観光客に日本を案内する職業で、ともさんはフランス語の優秀なガイドだった。コロナ禍で 2021 年春以来、仕事はゼロになった。「無風どころか、逆風でしたね。現地に行って自己研修することもできないのですから」。GOTO トラベルキャンペーンもインバウンド業界には、助けにならなかった。外に出ない日が続いた。家でもんもんとする中、これまでの仕事で書きとめてきた単語や表現をまとめることを思いついた。「フランス人は、言葉を大切にす国民で、単語力、イコール教養といった面があり、単語力のないガイドは失格です。たとえば地震の話ひとつでも、免震装置、耐火建築、筋交い、といろいろな語を知らねばなりません。日本は地震国だ、とただ繰り返しているようではだめなのです」。分野は、日本食、温泉、日本の家、神社や寺院といった典型的な観光の事柄はもちろんのこと、自動車工場の見学、原発問題、政治・経済・歴史など広い範囲に及ぶ。アニメ作品、現代美術アーティスト、現代建築の作品リストなど、フランス人が興味を持つ現代の日本を知る知識も盛り込んだ。「現場で出てきそうな単語はすべて網羅しました」と、ともさんは胸をはる。もちろん、新型コロナウイルス関係の語もぎっしり。「これからのツアーでは、三密や社会的距離という語を口に出さないということはあるでしょう」。新しい生活様式にも対応した単語帳ができあがった。

そして、このプロジェクトはさらに大きな展開を見せることになる。英語のエキスパートを巻き込んで、すべてに英語が並記された「日仏英 3 国語」のマルチリンガル・ワードブックを目指すことになったのだ。「フランス語ガイドは全国で 500 人に過ぎません。狭い世界です。英語を入れてこそ、価値のあるものになる。第一線のガイドや通訳だけでなく、観光案内所やホテル・旅館、あるいは外国人を迎え入れるレストランの方々に広く活用していただけるのでは、と考えました」。

通訳案内士という仕事は、フリーランスの個人事業主として扱われ、ふだんは交流はあまりないという。「基本的には個人プレーです。お互いにライバルだから、自分のメモや単語帳を見せるなんてとんでもない」。しかし、この試みに賛同する英語のベテランガイドたちが現れた。ネットを通じて膨大なやりとりが続けられた。議論が深夜に及ぶこともたびたび。「テレワークブームに乗っただけです」とともさんは笑う。2021 年 2 月に始まったネットを通じての「勉強会」は 130 回を数え、今も続いている。こうして、レンガをひとつひとつ積み上げるようにしてこの『日本観光必携単語帳』が出来上がった。すべての見出し語はひらがなをつけ、外国人の日本語学習者も使えるように配慮した。観光関係の人がすぐに現場で使えるよう、単語は分野別に配列されている。「ともさんと仲間たちの会」がチームワークで作成した、最強のインバウンド用ツールである。